

# Naked

[ネイキッド]

THIN MAN FILMS PRESENTS A MIKE LEIGH FILM 'NAKED'

STARRING DAVID THEWLIS-KATRIN CARTLIDGE-LESLEY SHARP

COSTUME DESIGNER LINDY HEMMING MUSIC COMPOSED BY ANDREW DICKSON

DESIGNED BY ALISON CHITTY EDITED BY JON GREGORY DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY DICK POPE

PRODUCED BY SIMON CHANNING-WILLIAMS WRITTEN AND DIRECTED BY MIKE LEIGH

CHANNEL FOUR FILMS WITH THE PARTICIPATION OF BRITISH SCREEN

裸の心で泣けたなら、裸の心で抱きしめたなら、愛することもできたのに...



マイク・リー 監督作品

1993年カンヌ国際映画祭監督賞・主演男優賞

監督：脚本：マイク・リー

製作：サイモン・チャニング・ウィリアムス

撮影：デヴィッド・ホープ

美術：アリソン・チャッティ

編集：ジョン・グレゴリー

音楽：アントニー・テイタック

衣裳：リン・テイ・ヘシグ

メイクアップ：シュエリス

カトリック・カートリッジ・レスリー・シャープ・クレア・スキナー

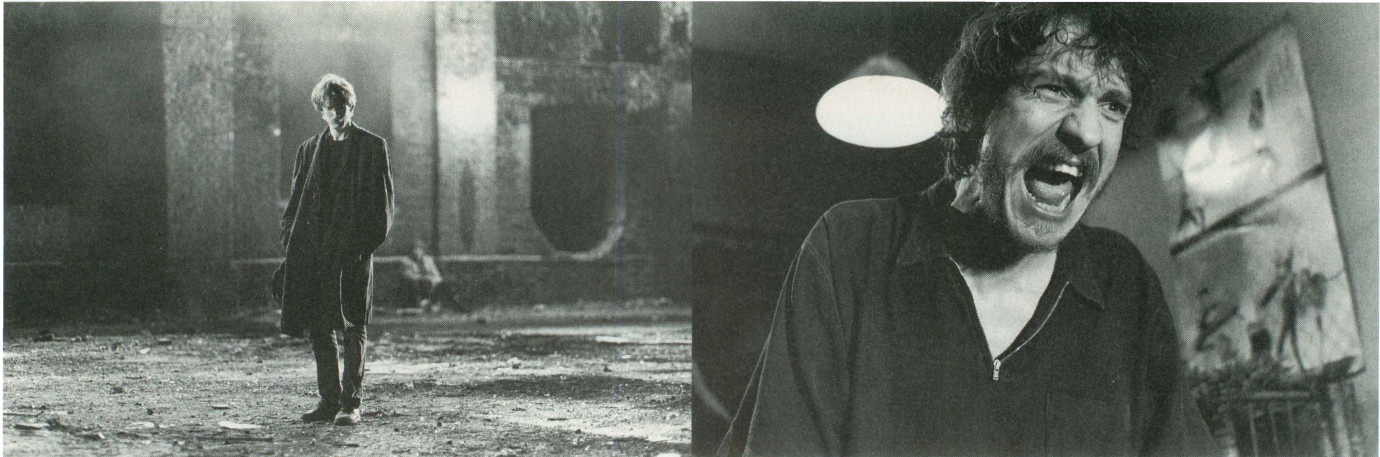
グレッグ・クラットウェル／ピーター・ワイト



WINNER BEST DIRECTOR MIKE LEIGH

WINNER BEST ACTOR DAVID THEWLIS





# 『ネキッド』 Naked

ジョニーは剃刀、ジョニーは残酷、ジョニーは天使……。

1993年度全米批評家協会賞:主演男優賞 1993年度ニューヨーク批評家協会賞:主演男優賞 1993年度ボストン批評家協会賞:男優新人賞  
1993年度イヴニング・スタンダード映画賞:主演男優賞 1993年サンセバスチャン映画祭:審査員賞  
1993年ジュネーブ映画祭:女優新人賞 1993年ストックホルム映画祭:脚本賞 1993年ハウグスン映画祭:ヨーロッパ映画作品賞  
1993年トロント映画祭:特別賞 1993年オンタリオ映画祭:外国映画作品賞

90年代のアンチ・ヒーロー、ジョニー!

## 『鬼オマイク・リー監督日本初公開作品』

『ネキッド』は、20世紀末の都市を、剥きだしの魂が彷徨する映画だ。すべてに「NO!」を叩きつけて、それでも他者との絆を必死に求めようとする若者ジョニー。『裸の眼差』は、欺瞞となくずしの世界にこれっぽっちも折り合いを付けたりしない。人生を冒瀆し、愛を弄び、社会を嘲笑うジョニーは、すべてをひっぺがした、「ギリギリの存在」だけを信じる。それは、黙示録とノストラダムスが予言する人類の終末の彼方にほの見えてくる「何か」のはずだ。

## 『ジョニー=デイヴィッド・シューリス』

ジョニーそのものともいえる主演のデイヴィッド・シューリスは、本作品で、カンヌ映画祭、全米批評家協会賞をはじめ5つの主演男優賞を獲得、英国で最もHOTなヤング・アクターとなった。『ポスト ダニエル・デイ・リュイス』との評価も定着し、次回作では、いまや全米でも人気沸騰のヒュー・グラントと共演する。また先頃のバリ・コレでは、コム・デギャルソンのモデルもつとめた。

## 『ジョニーをみてほしい!!』

第1作目の『ブリーク・モーメント』ではロカルノ映画祭のグランプリを、2作目『ハイ・ホープス』ではヨーロッパ映画賞グランプリ、3作目『ライフ・イズ・スウィート』は全米批評家協会賞作品賞、4作目の本作品でカンヌ映画祭監督賞を獲得。日本初お目見えとなった。

## 『ジョニーは疾走する…。』

マンチェスターの通りでレイプをしたジョニーは、盗んだ車を夜通し走らせロンドンへ向かう。昔の女ルイズのアパートに辿り着く。ルイズは不在だったが、同居人のパンクな女ソフィーに招き入れられる。二人は大麻を吸っていちやつく。「ロケットって何なのさ?」「デカイ金属のペニス。バカどもは宇宙も犯したいのよ。」



その頃、ヤッピー風青年ジェレミーは、マッサージ・パーラーでマッサージ師を口説く。「女はレイプされるのが好きなのか?」「ファックは?」「マスかきは?」

結局レストランのウエイトレスを連れ帰り、凶暴なセックスに及ぶ。「俺は自殺する。40才の誕生日に。まだ生きてたらな。」

ルイズが帰ってくる。とげとげしいジョニー。「ここで満足か?」「人は人生に飽き、宇宙に飽き、安っぽいスリルを求め、見掛けの派手さに目がくらんでいる。」

ソフィーを振り切ってとび出したジョニー。ソニーで出会ったスコットランド出身の偏執狂アーチャーに無理やり話し掛ける。「予言を信じ

るか? ノストラダムスさ。」「人類は黙示録通りに進んでいる。」

アーチャーと連れが去った後、ジョニーはオフィスの玄関口に座り込む。「国中で一番退屈な仕事をしている」ガードマンに教えられた、オフィスの向かいのアパートを訪ねていくが、そこにいるのはやつれて飢えた中年の女だった。「ファックすりゃ若返るとでも思ってたのか?」

ソフィーがアパートに戻ると、ジェレミーがいて、自らをアパートの大家だと名乗る。いきなりソフィーのストッキングを引き裂き、看護婦の制服を着せていたぶる。

ジョニーは、カフェのウエイトレスの家に上がり込むが、ジョニーという存在に恐怖を感じたウエイトレスはジョニーを追い出す。「犬に小便かけられている俺の夢にうなされるがいい。」

夜の街をうろつくジョニー。挙げ句の果てはチンピラに襲撃され、やっとの思いでルイズのアパートに転がり込む。傷ついたジョニーを看病するルイズとソフィー。そんな二人をばかにしたように見つめるジェレミー。

傷も癒えてきたジョニーとルイズが浴室で話し込んでいる。その様子を覗いて、去っていくソフィー。小さな幸福が訪れそうな雰囲気…。しかし…。

CINE VIVANT  
シネ・ヴィヴァン・六本木

地下鉄六本木駅1番出口WAVE地下1階  
TEL.03(3403)6061●自由席定員制・入替制

連日 11:30 2:00 4:30 7:00

8月27日(土)より  
独占ロードショー!

特別鑑賞券1,400円絶賛発売中  
(当日一般1,700円・学生1,400円(税込))  
特別鑑賞券は都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあ、セゾン系劇場にてお求めください。